

経済指標レポート 第241号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

Tel: 06 - 6441 - 0102 Fax: 06 - 6441 - 0443

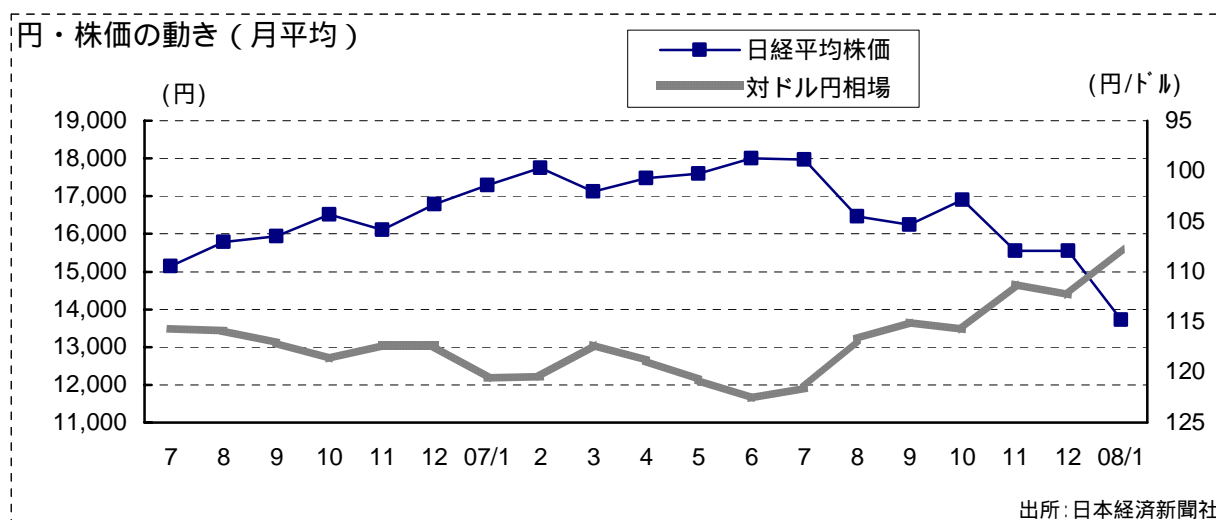
来月15日の「JRおおさか東線」開業を皮切りに、関西地域に新たな人の流れを生み出す鉄道ネットワークが続々と誕生する。「JRおおさか東線」は大阪東部を南北に貫き、JR東西線・学研都市線放出駅(大阪市鶴見区)と大和路線久宝寺駅(大阪府八尾市)を結ぶ路線である。最終的には放出から新大阪までの延伸が予定されている。同線を経由した奈良～尼崎間の直通快速列車も運転され、奈良や大阪東部地域から大阪都心部へのアクセスが大幅に向上する。

このほかにも今年秋には京都から大阪中心部・中之島への新たなアクセス路線となる「京阪中之島線」(天満橋～中之島)の開業、2009年には近鉄との相互直通運転により神戸・三宮から大阪・ミナミを経由して奈良までを一本に結ぶ「阪神なんば線」(尼崎～西九条～近鉄難波)の開業が控えており、これまでに無かった人の流れの創出が各沿線地域にもたらす波及効果に注目が寄せられている。

関西は全国よりも早く人口減少を迎えている。全体的な消費のパイが減少していく中で、地域における消費の活力を維持、拡大していくためには、これまで以上に消費の機会をつくり出す必要がある。

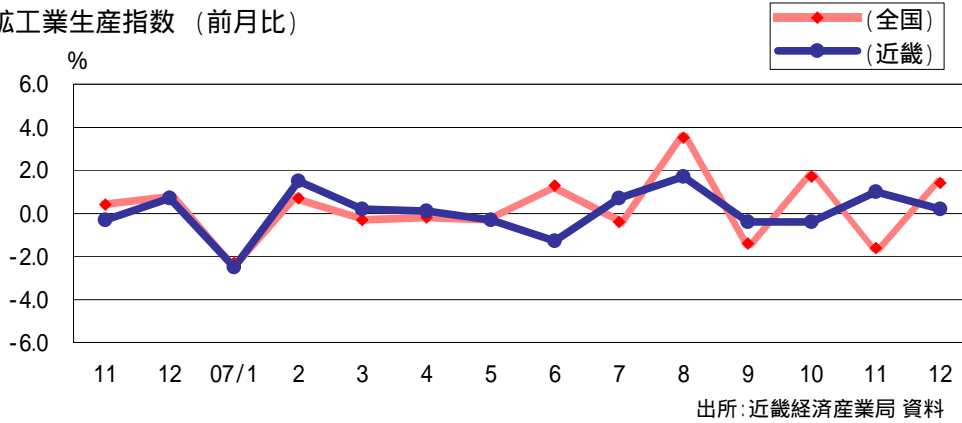
今後続く関西の鉄道新線開業は、新たな動脈を生むだけでなく、既存の鉄道ネットワークをつなぎ合わせる役割も担っており、これまで各事業者や各地域がそれぞれ消費者に提供してきたサービスや工夫を一本につなぎ合わせるができる。それは、それぞれのサービスや工夫を「点」から「面」へ変えていくことを意味しており、住民に多様な消費の機会を提供できるようになるため、結果として関西の消費エリアとしての全体的な底上げに結びつく。続々と誕生する鉄道網を活用した都市間・地域間の回遊性の向上にかかる期待は非常に大きい。

各指標の動き



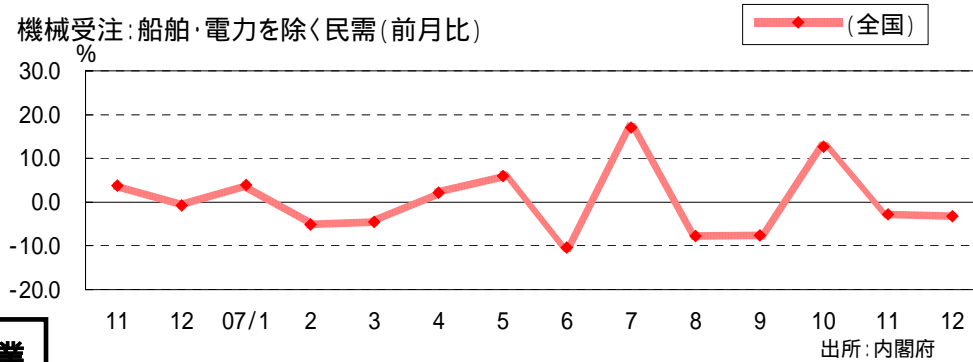
生産・機械受注

鉱工業生産指数 (前月比)



近畿は前月比 0.2% 増と 2 ヶ月連続の上昇。電気機械工業、電子部品・デバイス工業などが上昇に寄与。品目別では非標準変圧器、リチウムイオン蓄電池などが上昇に寄与。

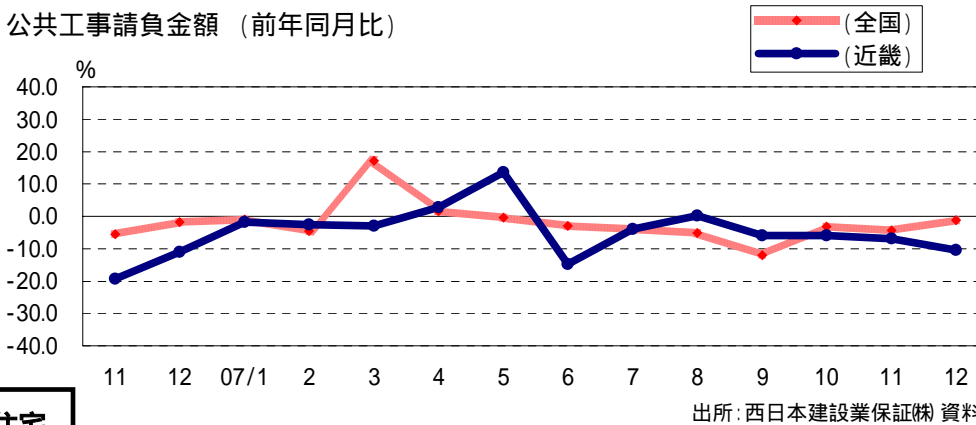
機械受注: 船舶・電力を除く民需 (前月比)



機械受注は前月比 3.2% 減となった。業種別の受注は製造業が同 7.8% 減、非製造業(船舶・電力を除く)が同 5.2% 増となった。

公共事業

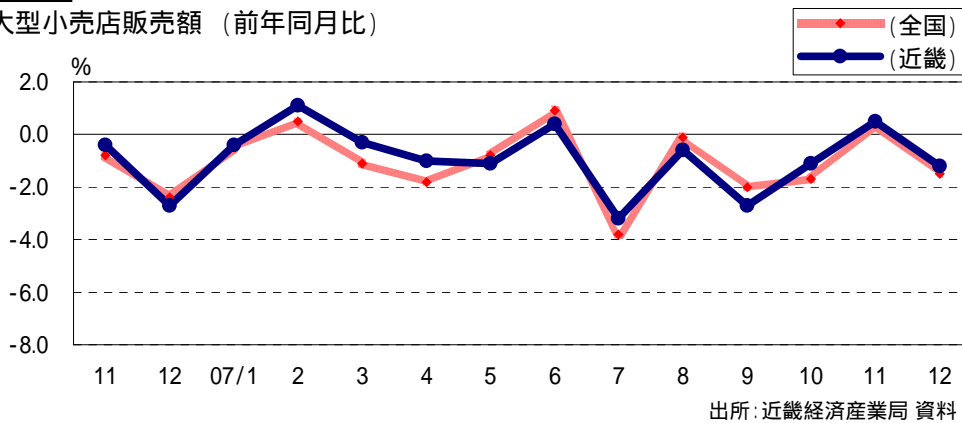
公共工事請負金額 (前年同月比)



近畿は前年同月比 10.4% 減。発注者別では「独立行政法人等」、寝屋川流域下水道関連工事等が寄与した「府県」で増加したものの「市町村」「国」は大幅に減少。

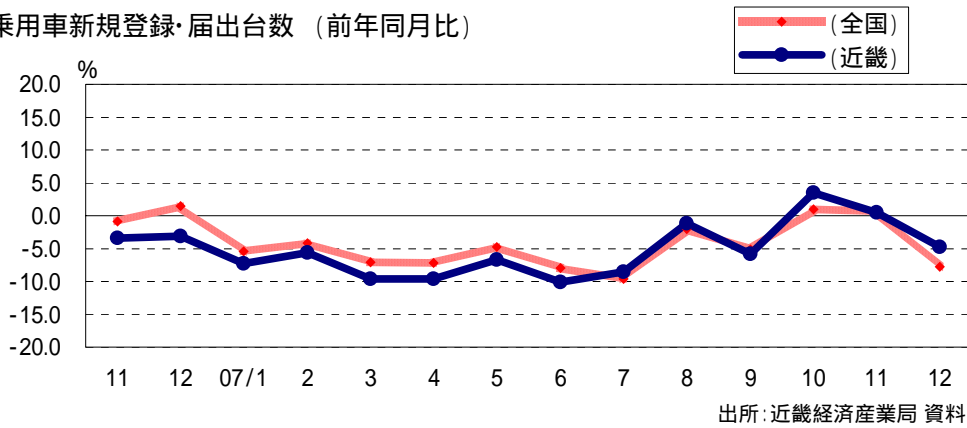
消費・住宅

大型小売店販売額 (前年同月比)



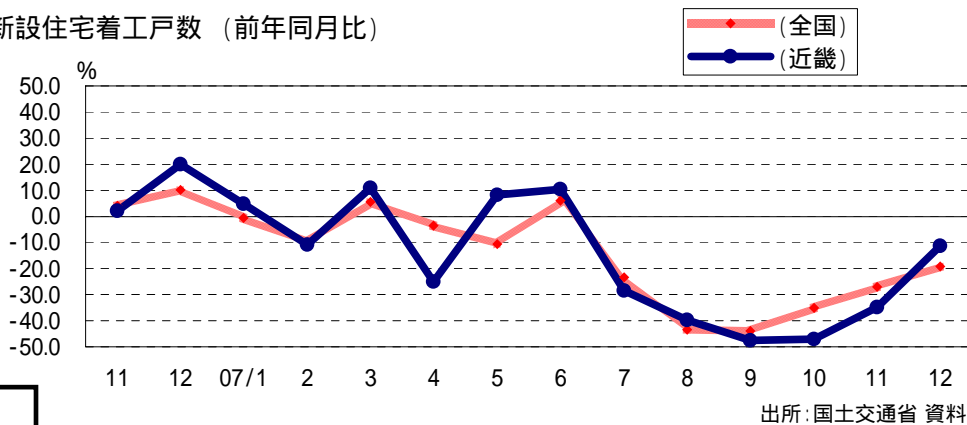
近畿は既存店ベースで前年同月比 1.2% 減と 2 ヶ月ぶりのマイナス。業態別ではスーパーが同 0.4% 減と 15 ヶ月連続のマイナス、百貨店が同 2.0% 減と 2 ヶ月ぶりのマイナス。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



近畿は前年同月比4.8%減と3ヶ月ぶりに前年を下回った。普通車が6ヶ月連続で前年を上回ったものの、小型車が21ヶ月連続で、軽四車が9ヶ月連続でそれぞれ前年を下回った。

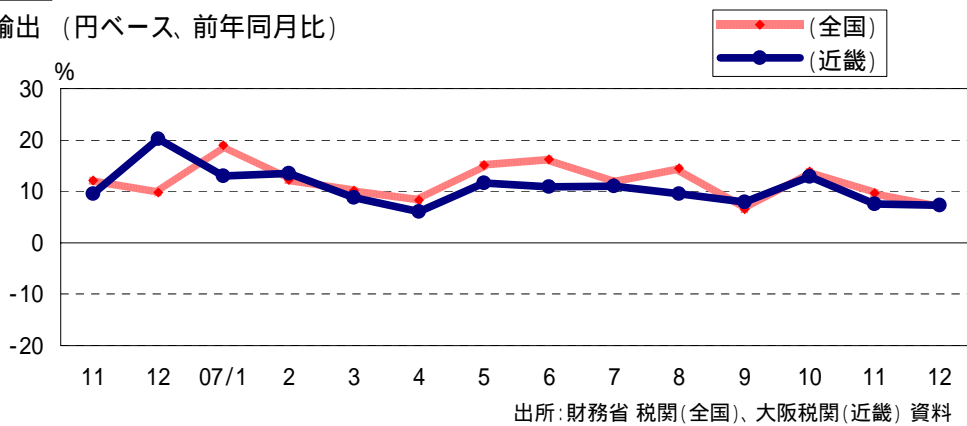
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



近畿は前年同月比11.3%減となり6ヶ月連続で前年を下回った。改正建築基準法の施行による影響が続いていたが底入れの動きが見られる。

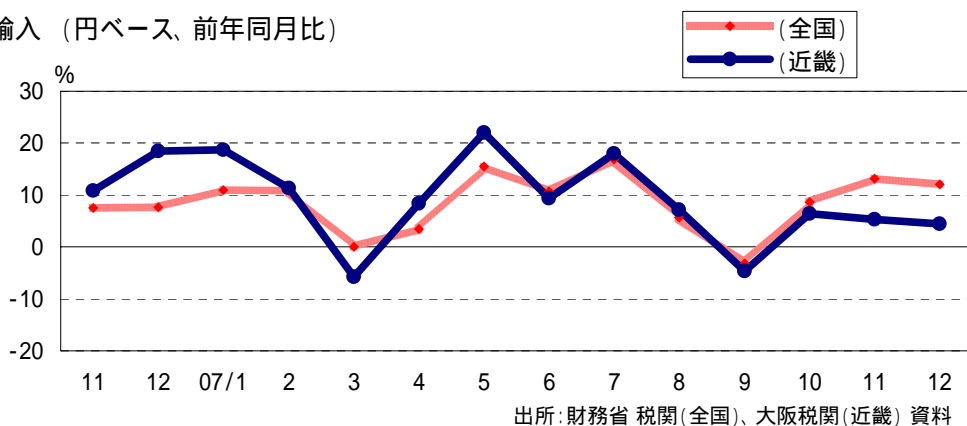
輸出入

輸出 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年同月比7.3%増で69ヶ月連続のプラスとなった。半導体等電子部品の輸出額が、中国向けの輸出が増加したことにより過去最高額を記録。

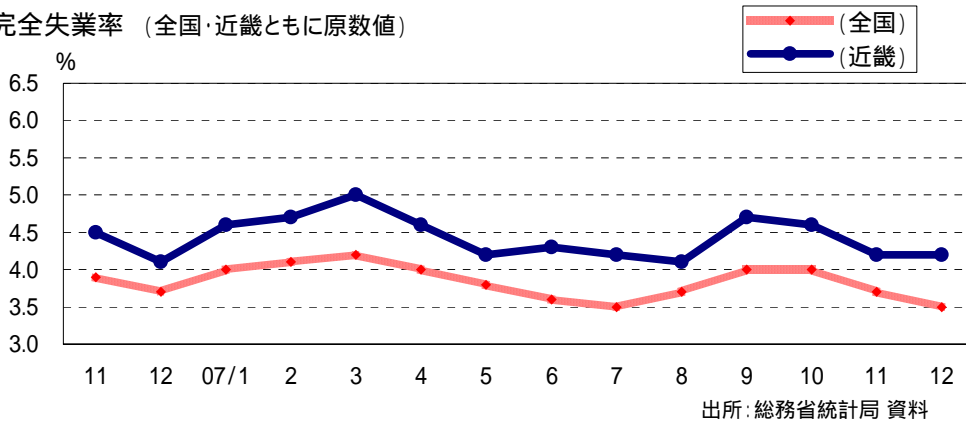
輸入 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年同月比4.4%増となり、3ヶ月連続のプラスとなった。天然ガスおよび製造ガスの輸入額が、価格上昇の影響を受け過去最高額を記録。

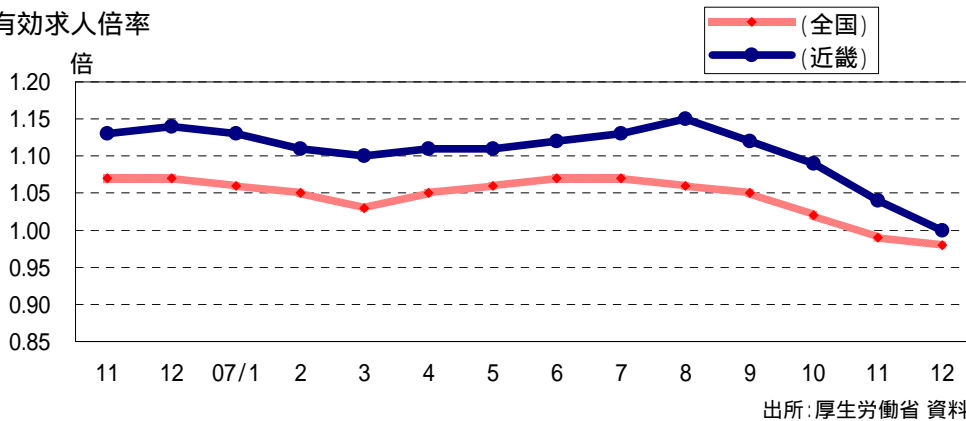
雇用・倒産

完全失業率 (全国・近畿ともに原数値)



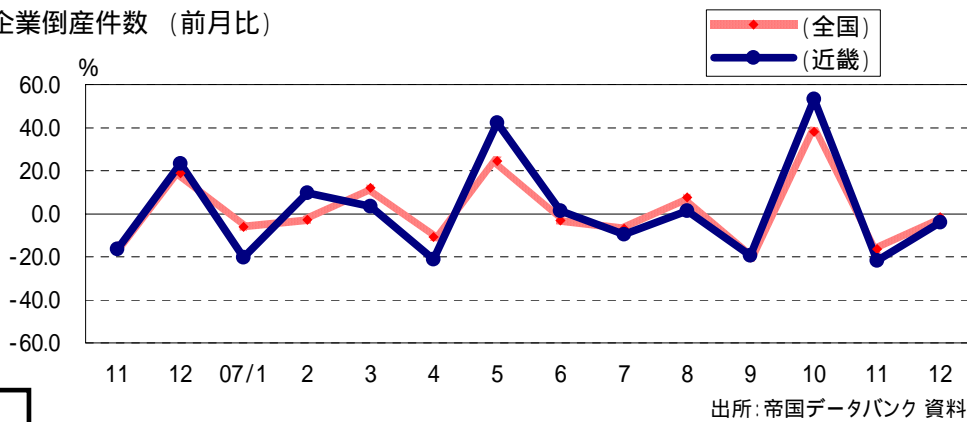
近畿の完全失業率は4.2%で、16ヶ月ぶりに前年を上回った(前年同月は4.1%)。全国は3.5%。

有効求人倍率



近畿は前月から低下し、1.00倍となった。引き続き全国(0.98倍)を上回っているが、4ヶ月連続で低下。

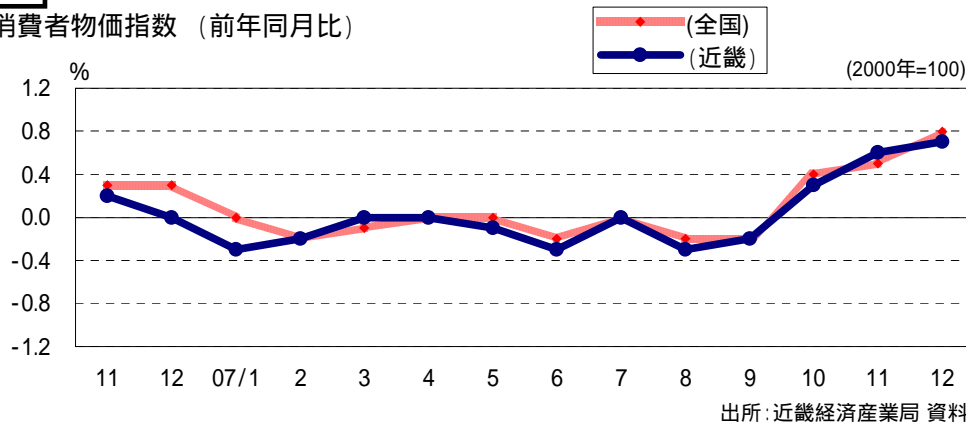
企業倒産件数 (前月比)



近畿の倒産件数(法的整理による倒産)は前月比4.0%減。業種別では建設業が最も多く(構成比25.6%)、次いでサービス(同23.5%)、繊維(同8.4%)となっている。

物価

消費者物価指数 (前年同月比)



近畿は100.7で前年同月比0.8%増。高熱・水道、交通・通信、食料の指数が上昇、教養娯楽、家具・家事用品、保健医療の指数が低下している。